

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度(令和2年度)		科目名	ITストラテジ	
科目基礎情報							
開設学科	情報処理科		コース名	システム運用コース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		開講時間	月曜 3時限目～		授業形態	講義
教科書/教材	IT戦略とマネジメント(インフォテック・サーブ)／授業内配布プリントなど						
担当教員情報							
担当教員	三島 秀三			実務経験の有無・職種	有・プログラマー		
学習目的							
学生が最新技術動向を業界のプロフェッショナルから聴講し、見識を広めることを目的とする。ITの技術は転換期にあるため、今後必要とされる人材は、知的好奇心を持ち、興味を持った事柄についてはその深層まで探究することができる人間である。さらに、多様性が求められる昨今、学生とは異なる環境にいる人との交流を持つことが多様な価値観を持つ他者への理解につながる。本講義では学生の知的好奇心を刺激すること、他者に対する想像力、発想力を養うことができる。							
到達目標							
企業ではさまざまな戦略が立案され、それを実現するために多種多様な情報システムが利用されている。これから情報処理技術者として社会人になるにあたり、授業で学んだ知識を元に企業経営の考え方などを理解する。また、情報処理業界の人材を育成するための指標として実施されている情報処理技術者試験(国家試験)の各種試験区分における基礎的知識の修得をすることによって、試験の合格も目指すものとする。							
教育方法等							
授業概要	企業活動の目的から、経営管理やさまざまな物やお金の流れなどを学習する。また社会人として知っておかなければならない各種関連法規や経営科学も学習し、各種検定試験で必要になる基礎的知識を修得する。また、ソフトウェア開発者として必要になる情報システムに関しての学習もおこなう。授業内容の理解度を確認するため、小テストを授業時間内に実施するものとする。						
注意点	この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回) 1回(2)時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	企業活動			企業活動の目的、組織体系、経営管理を理解する			
2回	企業会計			財務会計、管理会計を理解する			
3回	経営科学(1)			応用数学、OR、IE分析手法を理解する			
4回	経営科学(2)			QC手法、業務分析を理解する			
5回	法務と標準化(1)			知的財産権、セキュリティ関連法規、労働関連・取引関連法規を理解する			
6回	法務と標準化(2)			コンプライアンス、標準化と認証制度を理解する			
7回	経営戦略マネジメント			経営戦略手法、マーケティング、ビジネス戦略と目標・評価、経営管理システムを理解する			
8回	技術戦略マネジメント			イノベーション、技術開発戦略の立案、技術戦略マネジメント手法を理解する			
9回	ビジネスインダストリ(1)			ビジネスシステム、エンジニアリングシステムを理解する			
10回	ビジネスインダストリ(2)			e-ビジネス、民生機器と産業機器を理解する			
11回	情報システム戦略の概要(1)			情報システム戦略のプロセスを理解する			
12回	情報システム戦略の概要(2)			業務プロセスとソリューションビジネスを理解する			
13回	情報システム企画(1)			企画プロセス・開発計画を理解する			
14回	情報システム企画(2)			要件定義プロセス・分析を理解する			
15回	情報システム企画(3)			調達を理解する			